

学校開放による施設利用団体の連絡協議会について

令和5年スポーツ庁の指導で、部活動の地域連携、地域移行が始まりました。初年度は休日の部活動の地域移行、5年計画で全ての部活動を地域移行する計画です。このような状況で市内の学校施設を利用する団体がそれぞれ責任を持つ連絡協議会として独立し、その組織の運営状況や組織環境を教育委員会が把握、管理する環境づくりは喫緊の課題だと思われます。教職員の負担軽減、必要経費の利用者負担による市財政への負担軽減、利用者の責任の明確化による施設の適正利用など茂原市にとっても、教育委員会にとっても最善策だと思われます。学校開放における施設利用団体の連絡協議会化を決定していただきますようお願いします。

道路交通法におけるランナーの扱いについて

ランナーのスピードは、ジョギングで時速6km、普通のランナーで時速10km、早い人だと時速20kmと歩行者より自転車のスピードに近いので歩道を走ることの方が、立ち話しをしている人や、のんびり散歩している人などに危険を及ぼす可能性があります。緑ヶ丘の歩道は、広いところで幅1.8m、狭いところで（バス乗降場）で0.5m、平均1.2mです。歩行者同士は、すれ違うことはできますが、ランナーが見えると皆さん早めに車道に降りて通過を待ってくれます。これでは本末転倒です。しかし、現行の法律では歩道しか走れません。ランナーが心置きなく走ることのできる環境とランナーを守る茂原市独自の条例を全国に先駆けて作ることができれば、スポーツ振興推進都市として茂原市をアピールできる良い機会かと思います。最終的に道路交通法を改正できるところまで運動が発展することを祈るばかりです。

同窓会会場の確保について

茂原市には、現在小学校12校、中学校6校、高等学校4校があり、毎年多くの生徒が卒業し、何年かに一度、同窓会に参加するため茂原市を訪れます。同窓会に訪れた者は、多くのお金を自治体に落としますが、そんな機会を会場が無いばかりに、近隣の自治体に奪われている現実に向け、茂原市として会場を提供できるアイデアを出せないでしょうか。茂原市として、そのような施設を提供することにより、幼少期や青春時代を茂原市で過ごした出身者が故郷に対する思いを深くする良い機会になると思われますし、Uターン現象にも繋がります。運営上の経費等を試算したうえで、実現可能な施策でしたら、ぜひ実現していただきたくお願い申し上げます。

市議会議員の繰り上げ当選を認め、補欠選挙を無くすことについて

先般の県議選に複数の市議の方々が鞍替え立候補され、それに伴い市議会議員の補欠選挙が実施されました。当該市議の方々の前記行為は法的には何ら問題ないものと思われませんが、それによって補欠選挙が行われ、大切な税金が使われることは大きな問題と考えます。そこで繰り上げ当選を認めることで補欠選挙を回避でき、税金の有効活用が可能となります。財政難の自治体にとっては適用されても良い制度ではないでしょうか。